

お詫びと訂正

よくわかる電験合格指南シリーズ

理論 正誤表

p 39 最終行「表すといつ方」 「表すといつた方」

p 52 11 行目「図 34」 「図 37」

p 63 7 行目 Q の単位 [W] [var]

p 109 4 行目 電圧コイルの持続 電圧コイルの接続

p 135 5 行目 起電力の大きさ 起電力の向き

p 145 表 5 透磁率の単位 [H^{-1}] [H/m]

導電率の単位 [S] [S/m]

p 152 下から 9 行目「図 113」 「図 118」

p 159 4 行目以降 $M = -0.0075$ [H] = -7.5 [mH] となりますが大きさだけを考えるとは符号のマイナスは考えなくてよいので、⁽⁵⁾が正解となります。

p 162 1 行目「磁路のの平均長さ」 「磁路の平均長さ」

p 212 式 (5.7) $\phi_0 = \frac{|T - M|}{T} \times 100$ $\phi_0 = \frac{|T - M|}{M} \times 100$

p 236 図 168 の下の図の V_{CB} の極性を逆に (電池の上側をプラスに)

p 239 10 行目 2 ($0.699 + 1$) 20 ($0.699 + 1$)

p 239, p 240 「ちょっと数学」 「ちょっと数学」

p 243 例題 77 の 3 行目 R_C R_L , $h_{ie} = 1.000$ [] $h_{ie} = 1000$ []

p 246 問題 12 バイアス抵抗 R_B [] [k]

よくわかる電験合格指南シリーズ

電力 正誤表

p 34 下から 6 行目 ランナ出口の圧力 圧力
負圧力 圧力

p 38 1~2 行目

$$\text{式 } (1 \cdot 7) \cdot N = \frac{120f}{p} (1 - s) \text{ rpm} \quad N = \frac{120f}{p} \text{ [min}^{-1}\text{]}$$

「s はすべりですので」を削除

p 77 図 30 中タービン効率

η_T $\eta_{T, \text{室}}$
タービン実効率 タービン室効率

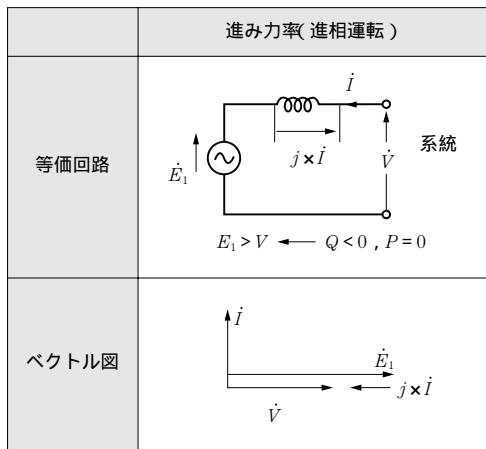
p 116 表 4 「六ヶ所村の位置」 「施設概要」

p 121 下から 4 行目 無効電力を X とすると 無効電力を Q とすると

p 129 下から 3~2 行目を

図 47 と図 48 では、同期発電機の図 46 (前テーマ参照) のときと逆に、電流や電力の向きを系統から同期機への向きを正としています。

図 47 進み力率のベクトル図を図のように訂正します。(p.129)



= 0

図 47 同期調相機の力率と無効電力調整

- 図 48 進相の $P + jQ$ $P - jQ$, 遅相の $P - jQ$ $P + jQ$
- p 149 表 7 「設備保護」 「後備保護」
- p 163 例題 61 3 行目 「出力電力」 「出力電圧」
- p 165 図 66 $\%Z_3 = 10\%$ $\%Z_2 = 45\%$
- p 221 6 行目 高長波対策 高調波対策
- p 223 図 101 中の「 $j24$ 」 「 $j2.4$ 」
- p 229 7 行目 接地コンデンサ (ZPC) コンデンサ形接地電圧検出装置 (ZPD)
- p 234 下から 4 行目 2 種類の電力 2 種類の電圧
- p 236 図 112 (a) 「 \leftarrow 」(左向き) 「 \rightarrow 」(右向き)
- p 244 図 117 「ネットワーク線」 「ネットワーク母線」
- p 245 図 118 プロテクタ遮断器の指す矢印は、変圧器ですからその下の機器に変更します。

よくわかる電験合格指南シリーズ

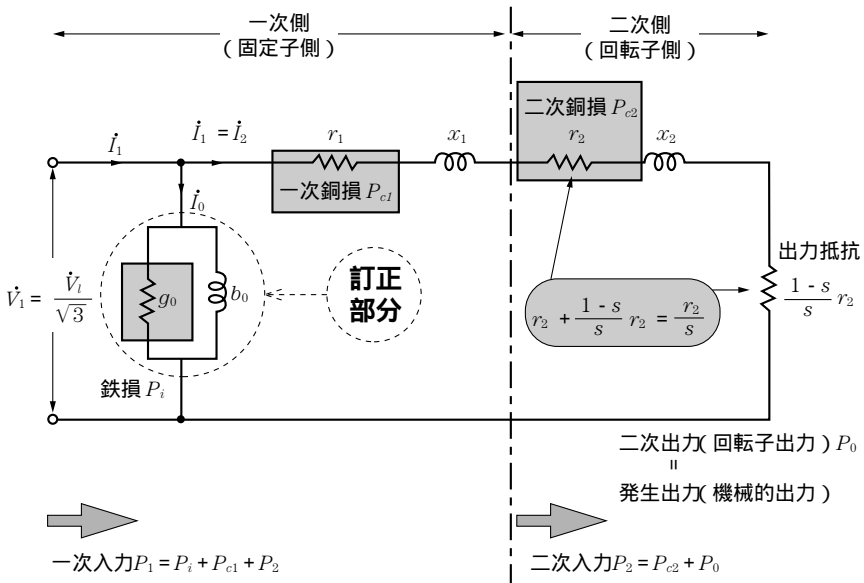
機 械 正誤表

目次 ちょっと数学 三角関数の性質.....p 9 p 69

p 23 図 7(a) 磁石 S の上「×××」 「・・・」

p 38 6 行目 「同期速度 N_s より低い速度 N_s 」 「同期速度 N_s より低い速度 N 」

p 48 図 18 を訂正します。(g_0 , b_0 の回路)



- (注) 1) 二次側の r_2, x_2 は、一次側に換算しているのて r_2, x_2 としています
 2) 図中の記号は、図15と同じです

図 18 L 型等価回路

p 49 式 (1 53) $r = \frac{P_2}{P_1}$ $r = \frac{P_0}{P_1}$

p 49 式 (1 48) I_1 I_1

p 62 9 行目 $N_1 = L_1 i_0$ $N_1 = L_1 I_0$

p 62 図 25 2 次側の電流の方向 (矢印) が逆

p 62 10 行目の式 (1.66) 及び最終行の式の i_0 I_0

p 63 1 ~ 2 行目の式 i_0 I_0

p 97 図 41 の下 3 行目の式

$$K_s = \frac{i_{f1}}{i_{f2}} = \frac{54}{i_{f2}} = \frac{(750)I_s}{\frac{11000}{\sqrt{3} \times 6.6} I_n} = \frac{750 \times 6.6 \times \sqrt{3}}{11000}$$

p 99 12 行目 $E_n = \frac{6600}{\sqrt{3}} = \underline{\underline{3.810}} \text{ [V]}$ $\underline{\underline{3810}} \text{ [V]}$

p 112 9 行目 $B_m = \frac{E_1}{Kf_E}$ $B_m = \frac{E_1}{Kf}$

p 138 (2.7) (2.18)

p 141 式 (2.31) の下 2 行を「ところが管中の水の速度 v [m/s] は, ポンプの回転速度 N [r/min] に比例します」に全面訂正します。

p 178 下から 6 ~ 7 行目「とちらも安定ですね。」 「どちらも安定ですね。」

p 213 下から 3 行目「光源の単位を」 「光源の単位」

p 214 3 行目 入射光速 入射光束

p 261 図 144 のバックフィルの説明文の中で「接続」 「接地」

p 269 下から 5 行目の式を次のように訂正します。(~~~~が脱落)

$$(11111111)_2 = 1 \times 2^7 + 1 \times 2^6 + 1 \times 2^5 + 1 \times 2^4 + 1 \times 2^3 + 1 \times 2^2 \\ + \underline{\underline{1 \times 2^1}} + 1 \times 2^0 = 255$$

21 p 293 ~ 294 (6) (7), (7) (8), (8) (9), (9) (10)

よくわかる電験合格指南シリーズ

法規 正誤表

テキストの本文及び例題の中で「通商産業大臣」、「経済産業大臣」、「通商産業局長」、「経済産業局長」、及び「通商産業省令」、「経済産業省令」と読み替えて下さい。

p 29 2行目 「3,720」 「4,720」

$$4 \text{ 行目 } \frac{18,000}{\sqrt{18,000^2 + 3,720^2}} \quad \frac{18,000}{\sqrt{18,000^2 + 4,720^2}}$$

p 36 下から4行目 定格負荷損の 定格負荷時の

p 45 下から1,3行目 「発電」 「逆送」

図 14 「送電電力量」 「逆送電力量」

p 95 最終行 「電気主任技術者でも」 「電気主任技術者のみで」

p 109 例題 30 選択肢 (2) の (ア) 500 1000

p 118 図 35 を次のように訂正します。(次頁に掲載しましたので、切り抜いて本文に貼って下さい。)

p 119 図 35 中 「用品の制定」 「用品の指定」,
「技術基準の判定」 「技術基準の制定」

p 134 例題 40 「三相3式」 「三相3線式」,
例題 39 「B種設置工事」 「B種接地工事」

p 150 一番最下行 「均引張」 「均張力」

p 165 第 42 条第 2 項 「誘電作用」 「誘導作用」

p 166 条文抜粋 「最大電力 1000 kw 以上又は」を削除 2カ所

p 187 下から2行目 「非常调速機」 「非常调速装置」

p 227 問題 17 (ア) [m] (ア) [cm]

p 232 例題 69 7行目 「(ア)」 「(ア) 風圧荷重」
8行目 「海岸地方」 「海岸地」

p 235 2行目 「許容引張強さ」 「許容引張荷重」

p 237 9行目 「許容引張強さ」 「許容引張荷重」

p 239 3行目「2.3kN以上のもの」の前に「引張強さ」を挿入

p 239 下から3行目「耐熱銅合金線」 「耐熱銅合金線」

p 263 下から6行目「定格電流〔A〕」 「定格電流 60〔A〕」

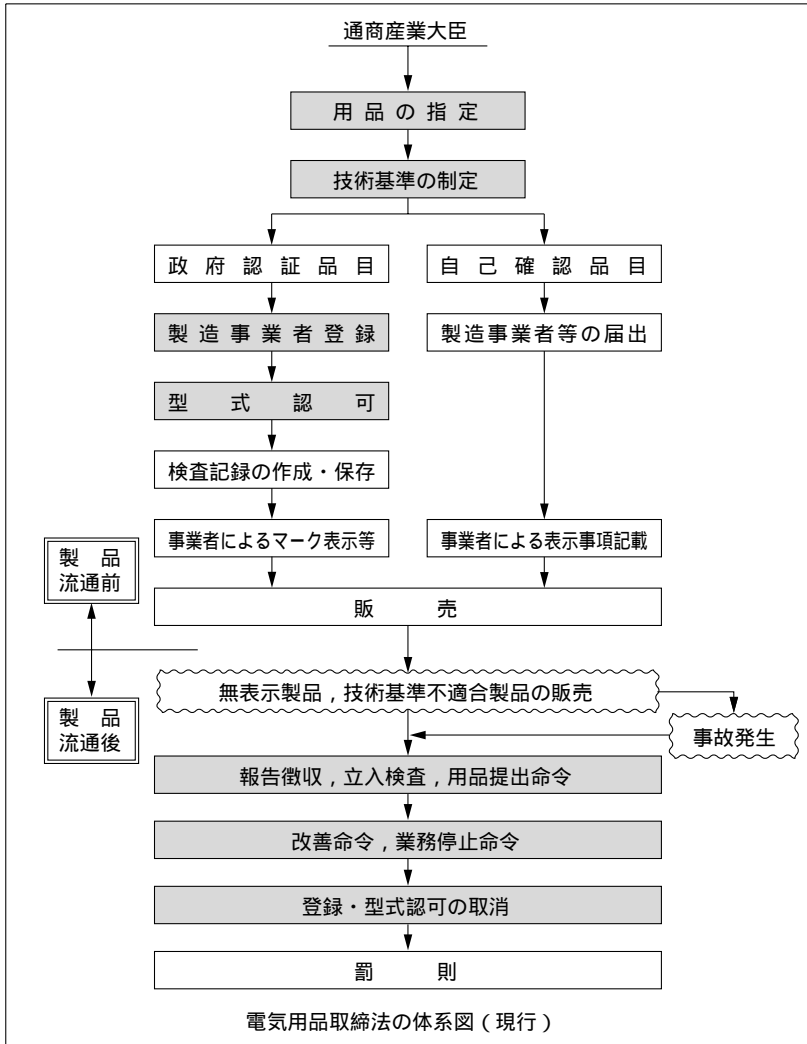


図 35 体系図